

たまか

1997

4

No.368

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA



憧れの小学校に

“入学したよ”

4月7日(月)は、村内小中学校で入学式が行われました。

玉川第一小学校でも、新一年生34名が元気に登校しました。入学式が始まる前に、教室で首前を呼ばれたときの返事の練習。大きな声で「はい」。みんな大盛り上がりでした。

21世紀への「住みよい村づくり」のために

平成9年度 一般会計予算 38億8,657万円

用語の解説

地方交付税～ 行政サービスは、どの自治体でも同水準であることが望まれます。国が地方自治体の財政事情に応じて分配するお金です。

国庫支出金と県支出金～ 村が事業を行う場合に、国や県が事業費の一部を助成するお金です。

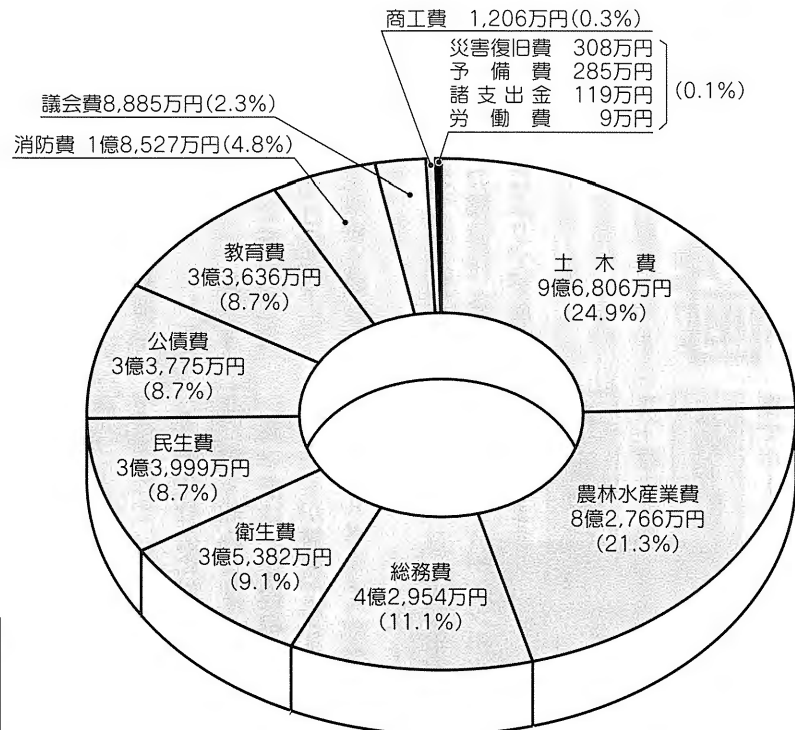
村債～ 長期間で返済する村の借入金です。

地方譲与税～ 国税として徴収され、一定の基準によって地方自治体に譲与されるお金で、自動車重量譲与税、消費譲与税などがあります。

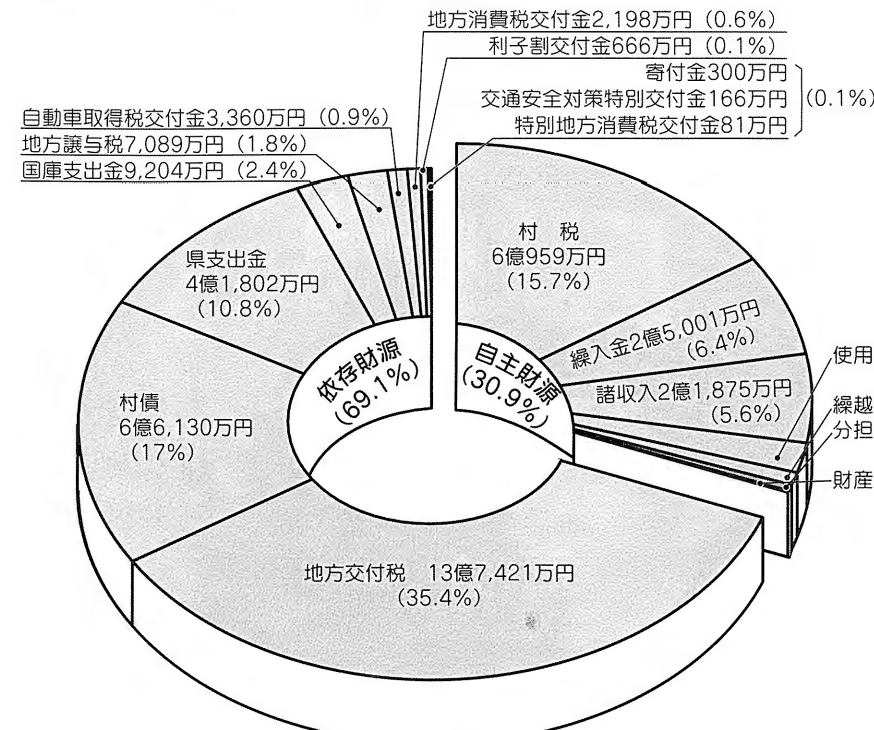
義務的経費～ 村の歳出のうち固定化している経費であって、任意に削減できない経費です。

投資的経費～ 施設等、将来に残るものに支出されるお金です。

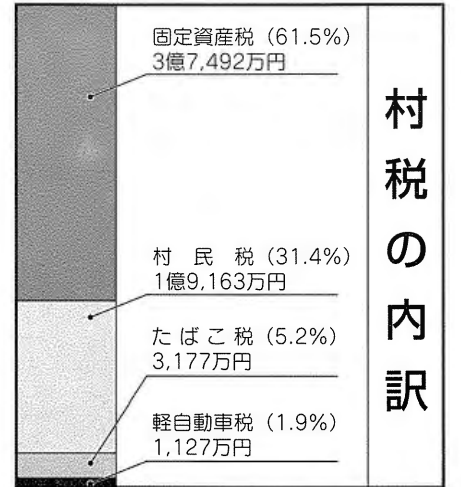
公債費～ 村の借入金(村債)の返済金です。



歳出 38億8,657万円



歳入 38億8,657万円

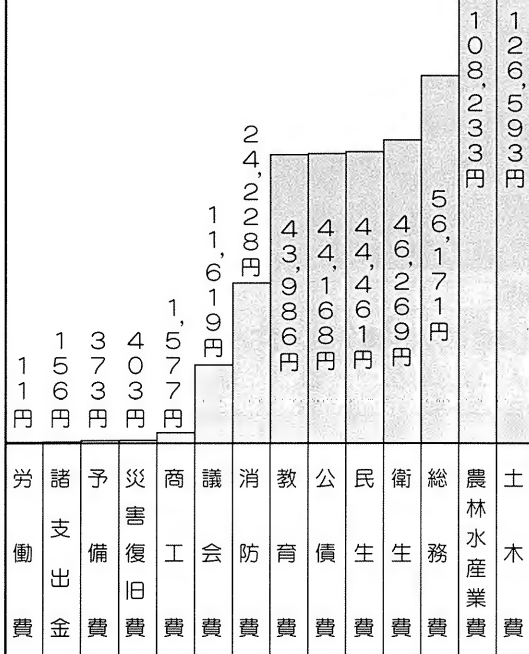


村税の内訳

玉川村の一年間を賭す、平成9年度の一般会計と5つの特別会計の当初予算が3月7日から3月14日までの会期で開かれた玉川村議会3月定例会で決まりました。全会計の予算規模は、総額で57億4,192万円となりました。これは、前年度に比べ11億1,170万円の増で24%の伸びとなっています。

村民1人当りに使うお金

合計 508,248円
(1月1日現在人口：7,647人)



歳入

一般会計の予算規模は、38億8,657万円。前年度の当初予算に比べ、7億5,105万円の増で23.9%の伸びとなっています。

歳入には、自主財源(村が自主的に収入できるお金)と依存財源(国や県から交付されるお金や借金)があります。

平成9年度一般会計予算を自主財源と依存財源に分けてみると、自主財源30.9%、依存財源が69.1%となっています。

歳出

歳入の特徴としては、福島空港周辺整備事業等により、県支出金が前年比1億8,215万円の増となり、77.2%の伸びとなりました。また、地方交付税をはじめとする一般財源の伸びが期待できないところから、基金の繰入や村債の比率が高い内容となりました。

またように、福島空港周辺整備事業や総合運動公園整備事業などの事業を数多いことから土木費が43%、農林水産業費が63.7%の伸びとなりました。

性質別に分けて見ますと、人件費等の義務的経費が32.4%を締め、普通建設事業の投資的経費が、36.2%となっています。普通建設事業は、国・県から補助を受けて行う補助事業と村が単独で行う単独事業に分けられます。

主な補助事業には、団体営農道整備事業や合併処理浄化槽設置事業、消防防災施設整備事業などが行われます。

1人当たりが納める村税

合計 79,716円

固定資産税	49,028円
市町村民税	25,059円
市町村たばこ税	4,155円
軽自動車税	1,474円
(1月1日現在人口7,647人)	



一般会計		38億8,657万円
特別会計	国民健康保険	5億336万円
	老人保健	5億4,578万円
	簡易水道事業	2億609万円
	農業集落排水事業	4億1,903万円
	上水道事業	1億8,109万円
総額		57億4,192万円

一般と特別で57億4,192万円

平成9年度 主な事業と取組み

行政改革

行政改革大綱に基づいて積極的に取り組みます。

快適な居住環境の整備

村民生活に直結した生活道をはじめ基幹交通体系となるトライアングルハイウェイ、矢吹小野線バイパス、1-10号線歩道工事に取り組みます。

下水道の整備

川辺地区は、現在約70%の供用率です。今年度中に全戸供用開始できるよう推進します。

宅地分譲

赤坂団地は、現在まで27区画分譲済みです。残り15区画は、4月25日分譲予定。完売後は、第2次宅造計画を県住宅供給公社と協議します。

環境衛生

石川地方環境衛生組合斎場の建設は、本年度より一部造成工事に入り、平成12年に完成します。

一般廃棄物対策

不燃物ゴミの分別収集モデル地区(2カ所)を指定して、効率的なゴミ処理方法についてテストします。なお、平成10年度より全村で実施します。

産業の振興

農業振興として、野菜・果樹・畜産の振興のため、新年度より普及所OBの指導員を営農推進協議会で採用します。

商工業の育成

流通機構の改革、ニーズの変化等で地元商店は、大変厳しい状況です。これらに対応できる人づくり、やる気集団育成、インテグレーションの研究など商工会と連携を深めながら進めます。

福祉の充実と健康づくり

地域福祉計画(ゴールドプラン)の実施計画に基づき進めています。21世紀の本格的な高齢化社会に対応した施設の整備等に取り組みます。

教育

オーストラリア・マツコリー大学から英語教師の招致と、スポーツ担当の教育主事を配置します。

総合運動公園

今年度は、一部造成工事と室内ゲートボール場の建設をします。

水資源の確保

今年度、水源調査を実施し、次年度でボーリングを予定しています。

平成9年度は、行政改革大綱に基づいて積極的に取り組みます。快適な居住環境の整備、下水道の整備、宅地分譲、環境衛生、一般廃棄物対策、産業の振興、商工業の育成、福祉の充実と健康づくり、教育、総合運動公園、水資源の確保など、多岐にわたる事業を実施します。

本年度は、赤坂団地は現在まで27区画分譲済みです。残り15区画は、4月25日分譲予定。完売後は、第2次宅造計画を県住宅供給公社と協議します。石川地方環境衛生組合斎場の建設は、本年度より一部造成工事に入り、平成12年に完成します。不燃物ゴミの分別収集モデル地区(2カ所)を指定して、効率的なゴミ処理方法についてテストします。なお、平成10年度より全村で実施します。オーストラリア・マツコリー大学から英語教師の招致と、スポーツ担当の教育主事を配置します。今年度は、一部造成工事と室内ゲートボール場の建設をします。今年度、水源調査を実施し、次年度でボーリングを予定しています。

一般会計予算の主な使いみち

議会費関係		■地域開発整備関連農林業対策事業	8,188万円
■議会議員の報酬・手当等	6,405万円	■土木費関係	
■総務費関係		■総合運動公園整備事業	4億4,021万円
■ふるさと創生事業費(中学生国内研修など)	1,180万円	■道路維持管理事業	8,265万円
■民生費関係		■道路改良事業等	1億8,643万円
■身体障害者・老人デイサービス事業委託	2,714万円	■商工費関係	
■老人ホームヘルプサービス事業委託	1,107万円	■村商工会へ商工振興補助金	745万円
■重度心身障害者への医療費助成	1,082万円	■消防費関係	
■衛生費関係		■消防施設整備(防火水槽3基・ポンプ自動車等)	4,310万円
■村水道事業会計への補助金	7,961万円	■教育費関係	
■各種検診の委託	2,403万円	■教員住宅建築事業	3,687万円
■石川地方生活環境施設組合分賦金	9,284万円	■玉一小耐震診断設計委託	525万円
■農林水産業費関係		■国際交流事業(外国青年社会教育指導員招致)	486万円
■阿武隈中部第2区域公団事業償還金	1,335万円	■公債費関係(村の借入れ金の返済金)	
■団体営農道整備事業・ふるさと農道整備事業	2億6,961万円	■平成9年度償還元金・利子等	3億3,775万円
■農村総合整備モデル事業	1億247万円		

シリーズ 都市計画

②

都市計画とは

私たちが住んでいる村は、みなさんのものです。村には、たくさんの方が住んでいます。そして、生活を支えているいろいろな建物や道路があります。無計画に多くの住宅が立ち始めると、災害などに対して無防備な市街地になってしまいます。

後で、これを改善しようとする場合、村民全体が費用を負担することになってしまいます。これら無秩序な市街化を未然に防止するため、国と県と協力しながら道路や公園、土地利用などを計画することが都市計画です。

都市計画区域とは

都市計画区域は、都市計画を行うための土俵のようなものです。土俵がなければ相撲をとる

ことが出来ないように、都市計画を行うためには、まず都市計画区域に指定される必要があります。指定された区域は、都市計画法などの法律・規則が適用されます。



都市計画区の決定とは

広域的な観点から定めなければならぬもの及び基幹的な施設などは、知事が村の意見を聴き、また、一定の条件の場合には、建設大臣の認可を受けて定めます。その他のものについては、村が知事の承認を受けて定めます。



都市計画審議会が発足

第一回の玉川村都市計画審議会が3月21日に役場北庁舎会議室で開かれました。議事に先立ち、村長から10名の委員に委嘱状が交付されました。会長には、小針助役が選任され、会長が座長となり『玉川村の都市計画について』を議題として活発な意見や質疑等が出され、貴重な審議と検討がなされました。なお委員は次のとおりです。

会長	小針康敬	村助役
委員	宗形 徳次	議員
仁井田保雄	大野 勝雄	矢部 玄信
森 清重	古寺 福喜	溝井 宇一
野口 庄嗣		村職員

東京玉川会の皆さん 「善意をありがとうございます」

ふるさと福祉事業

この度、東京玉川会(大木吉孝会長)会員一八七名によるふるさとへの福祉活動を目的とした「ふるさと福祉事業」が行われました。この事業は、ふるさとに住む寝たきりのお年寄りのために会員が募金をして、日常生活用具等の給付を行っているものです。平成6年から行われており、今回で4回目を迎えました。

社会福祉協議会 に委託

民生委員が協力

は、村内の寝たきりのお年寄り32名に特殊防水シートと前開きシャツをセットにして贈られました。給付は、東京玉川会から玉川村社会福祉協議会に委託されて行われ、各地区の民生委員さんから地区のお年寄りに贈られました。

小高地区では、3月25日に地区民生委員の車田千枝子さんが、車田兵助さん(77歳)宅を訪れて、特殊防水シートとシャツを贈りました。

兵助さんは、「東京玉川会の皆さん、どうもありがとうございます。有り難く使わせていただきます。」と東京玉川会の皆さんに感謝していました。



特殊防水シートとシャツを受け取る車田兵助さん(左)

4月1日から役場組織が一部変更

保健課が『健康福祉課』に変更

村では、行政機構改革により4月1日から役場内業務の一部が変更になりました。従来の「保健課」に福祉業務が新たに加わり、保健・医療・福祉の業務を充実させ「健康福祉課」と課名が変更になりました。事務所の場所は、従来と変わりません。直通電話は、五七―四六二三です。



環境衛生係は『住民課』へ

旧「保健課」の環境衛生係は、住民課に事務が移されました。し尿くみ取り、野犬、ゴミの収集、公害等の事務は住民課にお問い合わせください。直通電話は、五七―四六二四です。



村職員人事異動

四月一日付の村職員人事異動は次のとおりです。()内は、旧所属・職名です。
【参事職】▽参事兼総務課長(議事事務局)小針一二▽参事兼建設課長(農政課)三吉隆之▽参事兼議会事務局兼建設課長(岡部勝良)
【課長相当職】▽須釜支所長兼須釜児童館長(須釜支所)関根英夫▽農政課長兼農業委員会事務局(公民館)草野亀雄▽公民館長(住民課)幹兼福社係長(真弓好司)▽住民課主幹兼課長補佐兼環境衛生係長(保健課)主幹兼保健衛生係長(塩沢忠雄)
【課長補佐相当職】▽会計室長補佐(兼出納係)出納係長(添田チヨ子)▽健康福祉課長補佐兼福祉係長(税務課)課長補佐(野口サツ子)▽税務課長補佐兼課長補佐(農政課)農政係長兼農業振興係長(高林重和)▽企画財政課長補佐兼企画係長兼空港対策係長(企画財政課)企画係長兼空港対策係長(石森春男)▽教育委員会教育課長補佐兼学校教育係長兼社会教育係長(教育委員会)学校教育係長(草野正博)▽建設課長補佐兼建設係長(建設課)建設係長(熊田富一)▽総務課長補佐兼庶務係長兼消防交通係長(総務課)庶務係長兼消防交通係長(鈴木一夫)▽公民館長補佐兼公民館係長(公民館)公民館係長(鈴木孝)▽須釜児童館主任主査(泉保育所)

「別れ」、そして新たな「出発」

3月は、「別れ」の季節でもあり、また「新たな旅立ち」の季節でもあります。泉、須釜の両中学校の卒業



楽しかったなあ

いずみ、すがま幼稚園の卒業式は、3月15日(土)に、泉保育所の終了式は3月27日(木)に行われました。友達との楽しかった思い出とともに新たな出発に胸を弾ませていました。



教職員人事異動

村内各小・中学校の教職員の人事異動は次のとおりでした。

転出者

- 【玉川第一小学校】
 - ▽佐藤国夫教頭(柏城小)
 - ▽阿部昭光教諭(須賀川市教育委員会)
 - ▽正木義輝教諭(須賀川三小)
 - ▽田中 純教諭(只見小)
 - ▽矢内雅仁教諭(白河二小)
 - ▽本田優子栄養技師(醸芳中)
- 【川辺小学校】
 - ▽富岡ケイ子教頭(母畑小)
 - ▽石井 勝泰教諭(小川小)
 - ▽佐川 敬教諭(蓬田小)
- 【須釜小学校】
 - ▽渡辺 宏教頭(仁井田小)
 - ▽神尾孝枝教諭(川俣南小)
 - ▽佐藤万里子教諭(小野田小)
 - ▽佐藤市子教諭(中谷一小)
- 【泉中学校】
 - ▽山川侑男教頭(山白石小)
 - ▽浅賀秀寿教諭(矢吹中)
 - ▽阿部裕好教諭(都路二中)
- 【須釜中学校】
 - ▽田中孝平校長(蓬田中)
 - ▽松本光一教諭(矢祭中)
 - ▽橋本晴男教諭(西袋中)
 - ▽水野勝也教諭(小平中)

転入者

- 【玉川第一小学校】
 - ▽鈴木文雄教頭(田口小)
 - ▽佐藤尚幸教諭(須賀川一小)
 - ▽中島暢子教諭(石川小)
 - ▽水野敬男教諭(天屋小)
 - ▽岩木光輝教諭(日和田小)
 - ▽矢部祐理栄養技師(浅川中)
- 【川辺小学校】
 - ▽佐藤明彦教頭(東北教育事務所)
 - ▽柳沼真一教諭(石森小)
 - ▽荒井郁子教諭(岩江小)
 - ▽酒井 文教諭(母畑小)
 - ▽西間木茂子教諭(石川小)
- 【須釜小学校】
 - ▽佐々木光治教頭(今泉小)
 - ▽岡本美香教諭(飯豊小)
 - ▽藤原美穂教諭(石川小)
- 【泉中学校】
 - ▽三浦良一教頭(船引中)
 - ▽馬場哲明教諭(蓬田中)
 - ▽矢吹倫子教諭(古殿中)
 - ▽清水紳一朗教諭(新採用)
 - ▽北村暢浩教諭(新採用)
 - ▽高橋香織講師
 - ▽水野文子講師
 - ▽小豆畑清種非常講師
- 【須釜中学校】
 - ▽鯨岡忠治校長(西袋中)
 - ▽丸山哲司教諭(須賀川一中)
 - ▽熊谷須美子(鏡石中)
 - ▽芳賀善正教諭
 - ▽安倍幸枝講師



江本 城幸

- 30歳
- 郡山市
- 教育委員会

「早く村のことを知り、村民の方々とのおふれあいを大切にしたいと思います。」



横田 亜紀子

- 23歳
- 郡山市
- 健康福祉課

「住民の皆さんのお役に立てるように頑張りたいと思います。」

◆新採用職員です。よろしくお願ひします。

◆派遣職員です。よろしくお願ひします。

林時喜子
 【新規採用】
 ▽健康福祉課保健婦 横田亜紀子
 【派遣職員】
 ▽教育委員会 江本城幸
 【退職職員】 三月三十一日付
 ▽総務課長 角田文弥 ▽農業委員会事務局長 相楽功男 ▽泉保育所 調理員 曲山道子

さんまの スーパーからくりTVが収録

村内のお年寄りが出演

4/9

東京放送(TBSテレビ)が毎週日曜日の夜7時から放送している「さんまのスーパーからくりTV」の収録が村就業改善センターで行われました。

当番組の中の「ご長寿早押しクイズ」に村内の老人クラブの代表者9名が出演しました。TBSアナウンサーで司会の鈴木史郎さんの巧みな話術の司会と出演者の珍(?)回答に場内は爆笑の連続。

なお、この日に収録されたものは4月27日(日)の午後7時から放送される予定です。



鈴木アナの 질문에頭をひねる回答者



小針助役にオリジナルタオルをプレゼントする岡倉さん(右)

JALキャンペーンガール 玉川村を表敬訪問

3/26

日本航空の「JAL97沖縄キャンペーンガール」岡倉衣里さん(21歳)が玉川村役場を訪れました。日本航空では、福島空港から沖縄便を就航させていることから、キャンペーンのため岡本孝三日航福島支店長、久賀淳一同総務課長も一緒に訪れました。

岡倉さんは、小針助役にキャンペーンのオリジナルタオルをプレゼントして、沖縄便のPRをされました。



国会議事堂で研修する参加者

首都機能移転を学ぶ 翼の会主催 グローイングアップ事業

3/8

玉川村翼の会(大木吉永会長)では、平成8年度の福島県地域振興事業調整費の補助を得て、「グローイングアップ事業～中学生による未来都市構想計画～」を実施しました。

当事業は、空港を核とした地域づくりで注目を集めている本村において、将来の中心的な役割を果たす子供たち(中学生)に独自の夢や理想を描いてもらうことを目的として行われました。

当日は、首都機能移転の問題を勉強するため、中学生22名が国会等を見学するため上京。視察や討論会を経て、最終的には1冊の提言としてまとめられることとなります。

福島空港開港4周年記念

春の空港まつり

3/30

各種イベントに家族連れが楽しむ

福島空港の開港4周年記念「春の空港まつり」は、本村と須賀川市の関係機関、団体が中心となって構成している春の空港まつり実行委員会が主催して、福島空港で開かれました。
普段立ち入ることが出来ないエプロンや場周道路、二千五百メートル滑走路の建設現場などをバスやカーゴドリーに乗っての見学が行われました。また、ペットボトルロケットやミニ四駆の競技大会も大変な人気を集めていました。
地元特産品の販売や飲食コーナーでは、玉川村の産品などに多くの人で終日賑わいをみせていました。

トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—
役場総務課広報広聴係まで



ペットボトルロケット大会

「幼児教育に活用しよう」 熊田先生より寄贈 自著の幼児教育指導書

3/8

玉川村出身で東京家政大学教授の熊田藤作さん(東京都保谷市在住)が役場を訪れ自身の著作で幼児教育の指導書「楽しい絵の書き方(3冊)」を村に寄贈されました。
熊田先生は、「子供たちはカラーやハンバーグが好きなように、図工が好きなんです。本来、好きなものを先生が示

してやらなければなりません。そして、分かる言葉で分かる指導が必要です。この指導書を活用いただければ幸いです」と話され、村に6冊寄贈されました。
この指導書は、教育委員会を通じて、村内の保育所、児童館、各小学校に配布され、今後の幼児教育のために活用されることとなります。



車田村長(左)と手渡す熊田さん(右)

交通安全を願い ミニわらじを寄贈

丹精込めた500足

3/28

南須釜の円谷多敬雄さん(73歳)は、役場を訪れ、車田村長(村交通対策協議会長)に自作のミニわらじを寄贈。

「交通事故防止の一助になればと思い作りました。ご活用ください。」と車田村長にミニわらじ500足を贈りました。

ミニわらじは、ビニール製のカラーテープを三色使った作品で、1足作るのに約30分かかります。車田村長は「交通安全用として有効に活用させていただきます」と話していました。

また、円谷さんは、このミニわらじを4年まえから石川警察署にも贈り続けています。



幼児教育について話す熊田先生と著作「楽しい絵の書き方」(右)

吉田さんが寄付 社会福祉協議会へ10万円

3/27

運転業務五周年記念として

平成4年度から社会福祉協議会のバス運転手として勤務(嘱託)されている中区の吉田七郎さん(65)は、運転業務五周年記念として社会福祉協議会に10万円を寄付されました。

吉田さんは「日頃からお世話になっているので、福祉に役立てていただければと思っています」と話していました。



社会福祉協議会長へ寄付金を手渡す吉田さん(右)



～春の空港まつりから～

4月5月の健康ごよみ

■4月	21日(月) 機能訓練	午前10時～	保
	23日(水) ポリオ予防接種	午後1時～	須
	24日(木) 3才児健診	午後1時～	保 愛
■5月	7日(水) 機能訓練	午前10時～	保 愛 受
	9日(金) 7・8か月児健康相談	午前10時～	保 愛 受
	14日(水) 股関節脱臼健診	午前10時～	保 愛 受
	20日(火) 機能訓練	午前10時～	保 愛 受

保:保健センター 須:須釜公民館
旧石:旧石川保健所 愛:受付時間

伝言板

ふるさと情報紙 広報たまかわを 村外の友人・知人に送ってみませんか

◆お送りする期間 申込みあった月から1年間
 ◆代 金 1部につき1,000円
 ◆申 込 先 代金を添えて役場総務課へお申し込みください。
 ※なお、期限切れの方で継続して希望される場合も早めに手続きしてください。

訂正 広報たまかわ3月号の新入学児童の氏名欄で「園谷奈津実」は「園谷奈津美」の誤りでした。お詫びのうえ訂正させていただきます。

青年海外協力隊員募集

あなたの技術・経験、情熱を開発途上国で活かしてみませんか。たぐいま、青年海外協力隊員を募集中です。

- ◆応募資格: 20歳から39歳までの日本国籍をもつ方
- ◆募集期間: 平成9年4月15日(火)～5月31日(土)
- ◆選考試験: 1次/筆記試験(技術、英語、協力隊員適正テスト) 2次/面接試験(個人面接、技術面接)及び健康診断
- ◆派遣期間: 原則として2年間
- ◆派遣職種: 農林水産・加工・保守操作・土木建築・保健衛生・教育文化・スポーツの7部門、約140職種
- ◆待遇等: 現地生活費・任国までの往復空港運賃など、必要経費を事務局が負担します。
- ◆現職参加: 協力隊事務局では、現に企業や団体に勤務している人が、有給休暇などにより協力隊に参加する場合があります。所属に対し、人件費の一部を補填する制度を受けています。
- ◆お問い合わせ先: 二本松青年海外協力隊訓練所 ☎0243-2413200

法を守るあなたが 法に守られる

5月3日は憲法記念日です。憲法週間中、福島地方裁判所と福島家庭裁判所では、無料法律相談会を開催します。

- ◆5月1日(木) 午前10時～午後3時 福島地方・家庭裁判所白河支部 ☎0248-22-3381
- ◆5月7日(水) 午前10時～午後3時 福島地方・家庭裁判所郡山支部 ☎0249-22-1846

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- | | |
|-----------------------------|------|
| ●東京玉川会からふるさと福祉事業として | 8千円 |
| ●小高の添田岩美さんから | 1万円 |
| ●中の遠藤 潔さんから | 3万円 |
| ●中の小針 弘さんから | 10万円 |
| ●小高の添田永命さんから | 1万円 |
| ●南須釜の増子右多子さんから | 2万円 |
| ●小高の溝井宇一さんから | 3万円 |
| ●中の吉田七郎さんから福祉バス運転業務5周年を記念して | 10万円 |
- (村社会福祉協議会)

歌愁短歌会玉川支部詠草集

白銀のひかりに飛べる一瞬の影 天駆ける白狐ならざや
 麻酔より醒めし私の手を握り成功ですよとナースの笑顔
 踊り子のイメージに降る牡丹雪見ては目を閉じ夢みる如く
 夢にだに予期せぬ病にうら臥して二十日の空白戻せざる歌
 底知れぬしげさの中月冴えてしき締まるごと霜柱立つ
 今の世に生まれて良かったなどと言う少し無理なる心鎮めて
 ふるさに近づくにつれ雪深く二十五年の歳月戻る

村公民館

- | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 小針 登里 | 真弓 はん | 吉田 サヨ | 小針 守次 | 登那木きみ | 白旗 隆 | 諏訪イセ子 |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|

村のようす

(9年4月1日現在)

戸数	1,732戸(+4)
人口	7,643人(+6)
出生	3,736人(-3)
死亡	3,907人(+9)

お誕生おめでとうございます

(3月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
岩法寺	小原 桃香	克友
〃	野崎 健太	豊満
南須釜	阿部 瑞希	正保
〃	塩澤 勇太	幸彦
〃	塩田 瑞樹	広美
北須釜	瀬谷 明寛	豊
吉	須釜 康介	和芳

おくやみ申し上げます

(3月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
小高	添田 美喜雄	68	ミヨ
〃	添田 シゲ	72	永命
〃	溝井 忠一	83	宇一
中	遠藤 菊男	76	潔
〃	小針 静	63	弘
南須釜	増子 音重	85	右多子

今月の納税
 国民年金保険料 4月分
 【納期限は4月25日(金)です。忘れずに納めましょう!】

確定申告が間違っていたとき
 確定申告書を提出した後で、計算違いなど申告内容に間違いがあることに気付いたり、うっかりして確定申告書の提出を忘れていた人はいませんか。もう一度確認をしてください。税額を少なく申告したときは、「修正申告」を。また、多く申告したときは「更正の請求」をして正しい税額に訂正しましょう。また、申告を忘れていたときは、すぐに確定申告をしてください。詳しくは、最寄りの税務署や税務相談室にお尋ねください。

あなたです 山を守るも火をだすも
山火事防止強調期間
 平成9年4月10日(木)～5月10日(土)

「若人の翼」団員募集

- 県では、青年海外派遣事業「若人の翼」の団員を次により募集しています。
- 1、応募条件 県内に居住する20歳から35歳までの勤労青年
 - 2、募集人数 62名
 - 3、派遣時期 9月9日出発予定
 - 4、派遣国及び期間
 - 北米派遣(12日間) 15名
 - 欧州派遣(15日間) 11名
 - オセアニア派遣(15日間) 11名
 - 中国、タイ派遣(12日間) 15名
 - 南米派遣(16日間) 10名
 - 5、募集期間 4月1日(火)～5月9日(金)
 - 6、申込み先 居住する市町村

【問い合わせ先】
 県青少年女性課青少年育成係
 ☎0245-21-7178

趣味の達人

①

『能面打ち』……奥野の四郎さん

今月の中区にお住まいの奥野四郎さん(66歳)の能面づくりを紹介します。

「能面打ちを始めたきっかけは？」

「勤めを定年退職したあと、ある日、テレビで女性が彫っているのを見て、自分にも出来るかもしれないと思いついて始めました。」

「いつ頃だったんですか。」

「昭和59年ですね。須賀川市木彫会に入会して習いました。」

「現在までに制作された面はどれくらいありますか。」

「正確に数えたことはありませんが、百個くらいは打った」といいます。

「能面ばかりではなくて、いろいろな面がありますね。大きく分類すると能面と獅子頭(かぐら面)に分けられます。また、乙(おかめ)やひよっこ(般若)などの面を打っています。」

「この趣味を通して何か得ることがありましたか。」

「面を打つには、手先を使いますし、また楽しんでやっていますので、肉体的にも精神的にも健康に良いと思いますね。」



作業中の奥野さん

「面にはそれぞれの表情がありますが……、打つ時の自分の気持ちが出ますか？」

「面を打つときの自分の精神状態が如実に作品に出てきますね。家内が病気で倒れたときなどは、どんなにしても悲しい表情になってしまいました。」

「般若の面などは非常に怖いんですよね。」

「実は、般若は女性なんです。角が付いていますよね。だから花嫁さんは、角隠しをするんだそうです。」

「打つ時間帯は？」

「朝早い時間が多いですね。」

「これからも良い作品を作ってください。」

「また、奥野さんは、『山野草』の趣味もあり、現在、約千鉢を所有しています。昨年は、春蘭の全国大会でも入選されたそうです。」

※このコーナーへ登場される方を紹介して下さい。



東野の清流

シリーズ「たまかわの俗地名」

『六年堂』の由来(四辻新田)

四辻新田(東野)を俗名六年堂と言います。昔、大變世が乱れて領民は殺され、田畑は荒らされ、人々は大變難儀をしてのを見かねた或る和尚は、平穩無事に暮らせるようお祈りしました。

しかし、相変わらず世の乱は治まらず、「俺は修行が足りない、今日より修行に入る」と言って、東山を本山の比叡山に見立て、「葉山」「身洗の滝(諏訪平地内)」「洗心の滝(東野清流)」

「座禅の石(ズガネ石)」「蓬田岳」の5カ所を修行の場と定め修行に入りました。修行の済んだ時には5年と7日が過ぎていました。既に世の乱れは納まり人々も平穩に暮らせるようになっていました。しかし和尚は、5年で達成できなかったことを仏に詫言「洗心の滝」に祠を建て、不動様を建立しました。後に地元の人たちは、この祠を六年堂と呼ぶようになり、それが地名へと変わったそうです。(塩田好一)

幼い頃、外から泣いて帰っても母の胸に抱かれて安心した様に、ふるさとの山や川には、母の面影が重なる心の安らぐところがあります。まさしく「母のふところ」だと思っております。『いつまでも山青く、水清くと願うところ』です。

東京玉川会コーナー

心に残る 我がふるさと

『ふるさとは 母のふところ』

千葉県千葉市 須釜辰雄さん (吉出身・須釜敬喜さんの従兄弟)



須賀川市のボタン園にて同級生と(右端が私)

玉川村の皆さんお元気ですか。そして東京玉川会の皆さんお元気でお過ごしのことと思います。不思議なものです。ふるさとを離れてちょうど五十年ですが、子供の頃の風景が次々と浮かびます。今は滑走路になっている山で、親父とキノコ採りしたことや魚採りした所、大きな蛇に出会った所などが、昨日のように浮かんできます。昨日の事は忘れるくせに……。

玉川会の皆様の「ふるさと便り」を毎月、楽しく読ませてもらっています。皆ふるさとを大切に思う心は同じだなぁと思いますが、『ふるさと』ってどうしてそんなに良いのでしょうか。万葉集の防人の望郷のうた、

また、遠きにありて思うものとか、ふるさとの山は有り難きかな、などふるさとを詠んだ詩が数多くあります。

私たち小学校の同級生は、玉川会総会の他にも年に二、三度顔を合わせて、語り合い励ま合ってきました。本年、一月十二日には、十三人で新年会を行いました。子供の頃の事や発展した村のことなど田舎の言葉を思い出しながら楽しく語り合いました。